



私たち 風疹をなくそうの会「hand in hand」は 風疹の予防とCRSへの理解を求めます。

～風疹でもたらされる苦しみをなくしたい～

**不妊治療を始めた方、
不妊治療中の方**

赤ちゃんがほしいね

必ず守って・・・

風疹のワクチン接種はしていますか？
妊娠初期に風疹にかかるると赤ちゃんに障がいが出る可能性があります。
赤ちゃんを守るためにパパ、ママになる前にまずは！**ワクチン接種をしましょう！**

風疹の抗体が低いことが
妊娠後にわかってしまった・・・

赤ちゃんがごきげん
うれいなのよ
うっわっわ・・・

1人で抱えないで

妊娠中は風疹のワクチン接種はできません。まずは家族の人に風疹のワクチン接種をしてもらいましょう。そしてできるだけ外出を控え、感染予防に努めて下さい。特に**妊娠初期**はご注意ください。
そして出産後、できれば入院中に**ワクチン接種をしましょう。**

妊娠中に
風疹に
かかってしまった

うっわっわっわっわ

そんな時は・・・

産婦人科で、今後の相談をすることができます。まずはかかりつけの産婦人科に**来院以外の方法**で連絡して下さい。

妊娠 風疹 二次施設 検索

先天性風疹症候群(CRS)の
赤ちゃんとともに

1人で抱え込まないで・・・
一緒に歩いていきませんか・・・

会のホームページ: <http://stopfuushin.jimdo.com>
ブログ: <http://ameblo.jp/tonokunn/>
FACE BOOK: <https://www.facebook.com/fuushin2013>
MAIL: stopfuushin2013@gmail.com

先天性風疹症候群(CRS)の赤ちゃんの接触者における感染性

先天性風疹症候群の赤ちゃんの鼻、のど、尿からは、生後数カ月にわたって風疹ウイルスが検出されることがあります。しかし、その赤ちゃんと接触した**免疫を有する方々**から、周りの人に**感染することはありませんし、通常の仕事や学校や生活の中で衣服を介して感染することはありません。**

特に医療関係者、保育所等の児童福祉施設等の職員、学校等の職員等の方々など、感染症に日頃接する可能性が高い方々には、**正しい感染予防の知識をもって、風疹を含むワクチン接種の実施などにも率先して努めていただきたい**と思います。

※NIID 国立感染症研究所 HP より一部抜粋

私たちの願い (体験談より)

発疹と発熱があり産婦人科に相談。「風疹かもしれないですね…」という状況で「赤ちゃんはあきらめたほうがいいですよ」と言われました。

産婦人科の先生方へ・・・

- ★今、存在する CRS のお子さんの情報提供して下さい。
- ★胎児の様子や変化を注意深く観察した上でその後の相談をさせて下さい。
- ★「産むかどうか」の選択をさせて下さい。

職場で「子どもが CRS でウイルスが排出されているのなら親のあなたも感染源になり得る」と通常業務からはずされてしまいました。

医療機関の先生方へ・・・

- ★誤解や中途半端な情報のために職場などで不当な扱いを受けてしまう方もいます。そういう方たちが1人で抱え込まないよう「いつでも相談においで」など声をかけてあげて下さい。

- ①ウイルス排泄があるからと近くの医療機関に診察を断られてしまいました。
- ②ウイルス排泄があるからと難聴等の集団療育を受けることができません。

医療施設・療育施設の先生方へ・・・

- ★観察室などの個室を使ったり他児と時間差をつけたりと特別配置をすることによって受け入れをしていただけないでしょうか？



風疹をなくそうの会「hand in hand」

2013年8月 結成
風疹ワクチンの啓発や費用助成を求め、また、CRS を正しく理解していただくために、メディア・雑誌等の取材を受けたり、国や各都道府県・市・行政等に要望書の提出や懇談をしたり、学会などで展示ブースを出したりして情報提供しています。

活動内容

- ・風疹の流行を繰り返さないために活動します。
- ・MR ワクチン接種の啓発活動を行います。
- ・ワクチン接種や先天性風疹症候群(CRS)に関する学習会を行います。

- ・先天性風疹症候群(CRS) 同士と、その家族が交流できる場を作ります。
- ・先天性風疹症候群(CRS) の情報提供をします。

アドバイザー: 東北大学病院検査部 中島一敏先生
国立感染症研究所 砂川富正先生